

ふくつ

議会活性化に向けて 議会活性化調査特別委員会設置 ICT化進む

CONTENTS

- | | |
|--------------|------|
| ●議会活性化に向けて | P.2 |
| ●廃棄物減量に向けて | P.6 |
| ●各委員会調査へ(視察) | P.8 |
| ●一般質問 | P.11 |



議会活性化に向けて

12月定例会にて議会活性化調査特別委員会を設置、 タブレット型端末の試行開始・本格導入へ

福津市議会では、市民が期待する開かれた議会、身近な議会としてあるべき姿を目指している。さらなる議会の活性化に向けて、長年にわたる先例・慣例等を見直し、これからの議会に求められる議会のあり方を論議するために、12月定例会において議会活性化調査特別委員会を設置した。

また、タブレット型端末の試行が始まり、議会資料のペーパーレス化・議会運営の効率化によるコスト削減が期待される。会議システムと通信ツールなどのシステムを導入することにより、多角的な活用を図っていく。



議会活性化調査特別委員会

議会の活性化を図るための調査・検証および協議を行う特別委員会

【調査事項】

- ① 会派制について
- ② 一般質問および総括質疑のあり方について
- ③ 予算・決算両委員会における委員の構成と審査のあり方について
- ④ 参考人制度、専門的知見の活用等議会の権能、機能の強化・充実について
- ⑤ 委員の視察研修について
- ⑥ 全員協議会のあり方について
- ⑦ 福津市議会運営に関する申し合わせ内規の検証について

【設置期間】令和2年12月28日まで

【構成人数】7名



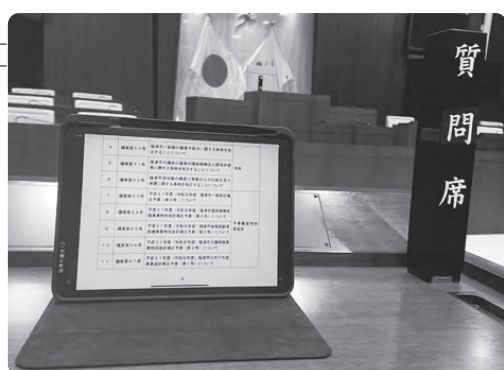
タブレット型端末導入の経緯

今年度4月に、タブレット型端末導入に向けた「議会ICT研究会」が立ち上がり協議を行った。研究会では使用基準の作成、公募によるプロポーザルを実施。機種とシステムの決定を行った。その後、2日間の議員研修を行い、12月定例会からの試行となった。6月定例会で本格導入予定。

タブレット型端末の活用

本会および委員会において、今後も議案や説明資料のペーパーレス化や議会運営・議案審議の効率的な情報共有が期待される。

同時に、議会活性化や見える化に向けて、運用規則の見直しや会議での活用を協議していく。



議会においても活用が期待される

令和元年度一般会計補正予算 1億9329万円を追加し、
総額 229億7537万円

軽自動車税課税事務費

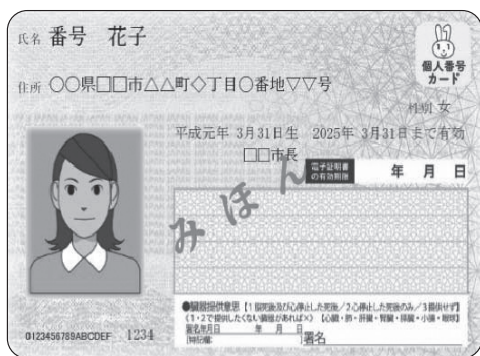
税制改正により軽自動車税に税目名称の変更等が生じたため、令和2年度の賦課徴収業務に備えて、軽自動車課税システムを改修するための費用

78万円

戸籍住民基本台帳一般管理費

マイナンバーカードの普及の強化を図るため、窓口の申請受付等体制整備に係る費用を増額

80万円



今後、普及が望まれるマイナンバーカード

職員人件費

人事院勧告に基づく給与等の改定による増額分、人事異動等による減額分を整理し補正

△1,042万円

議員手当

人事院勧告に基づく給与等の改定による増額分

42万円

国民年金事務一般管理費

法改正により国民年金第1号被保険者の産前産後期間における保険料が免除となったため、それに伴う国民年金システムを改修するための費用

59万円

児童扶養手当支給事業費

児童扶養手当法が改正され、支給回数が年3回から6回に変更となったこと、および手当額の改定に伴い増額

8231万円

中学校給食事業費

福岡中学校の改築に伴い、令和2年度から給食室から仮設校舎へ給食を運搬する必要があるため、運搬用コンテナなどの備品購入費用

167万円



導入予定の給食用コンテナイメージ

中学校学習環境整備事業費

福岡中学校において、令和2年度に生徒数の増加が見込まれるため、学習等に必要な備品の購入費用

163万円

小学校教育振興費

特別支援教育就学支援において、国庫補助対象限度額の増額と対象者の増加に伴い、扶助費を増額

184万円

小学校校舎施設整備事業費

福岡小学校、勝浦小学校において、令和2年度に特別支援教育の対象児童数の増加が見込まれるため、特別支援学級の増設を行うための費用

772万円

陳情

令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願

(公社)日本理科教育振興協会
会長 大久保 昇

学校教材の計画的な整備推進についてのお願

(一社)日本教材備品協会
会長 大久保 昇

「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情書

福岡県保険医協会
会長 林 裕章

福津市税条例の一部改正

全員賛成で可決

地方税法等の改正に伴い福津市税条例の一部を改正した。

①市民税非課税対象者の対象範囲と所得要件を改正

子どもの貧困対策として単身児童扶養者、いわゆる未婚の母（父）の低所得者を令和3年度から市民税非課税の対象とした。また所得要件を125万円から135万円に広げた。

②市民税算出の基礎控除と調整控除の適用所得要件を改正

前年の合計所得金額が2500万円を超える者についてはこれらの控除の対象外とした。

③軽自動車税のグリーン化特例に係る改正

新規取得した軽自動車のうち、電気自動車、天然ガス自動車に限り特例措置を延長した。

主な質疑

問 市民税非課税の所得額の範

囲が10万円上がるが、対象者の増加予測はどのくらいか。

答 所得控除額を10万円減額し、基礎控除を10万円増額することによる非課税枠の改正である。対象者数は大きくは変わらないと考える。



新設された勝浦小学校学童保育所

福津市学童保育所条例を改正

全員賛成で可決

勝浦小学校学童保育所を令和2年2月1日から、福間南小学校学童保育所（第4・第5）を同4月1日から開設する。並びに津屋崎学童保育所の名称を「津

屋崎小学校学童保育所」に変更し、第3・第4の定員を改正した。これに伴い、児童福祉法における本条例の所要の改正をした。

福間小学校学童保育所の指定管理者を指定

福間小学校学童保育所運営委員会

福間南小学校学童保育所の指定管理者を指定

福間南小学校学童保育所運営委員会

神興小学校学童保育所の指定管理者を指定

神興小学校学童保育所運営委員会

神興東小学校、上西郷小学校学童保育所の指定管理者を指定

神興東小学校・上西郷小学校学童保育所連絡協議会

津屋崎学童保育所の指定管理者を指定

NPO法人ワーカーズコープ

主な質疑

問 福間南小学校の生徒数のピークは令和7年度に1682人との予測があるが、今の体制で対応できるのか。

答 現時点では令和4年度までは対応できる見込みであるが、同5年度には再検討する必要がある。

指定管理者を指定する議案

全員賛成で可決

指定の期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで



津屋崎小学校第3・4学童保育所

（市民福祉委員会審査報告）

市職員の分限に関する 条例等を改正

全員賛成で可決

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に関する法律が、令和元年6月14日に公布された。これに伴い、福津市職員の分限に関する条例等の一部が改正された。

主な質疑

問 福津市下水道条例において、責任技術者の精神機能障がい判断は誰がするか。医師あるいは親族か。

答 現時点では特に定めていない。今後の研究課題と考える。

工事請負契約を締結することについて

全員賛成で可決

福岡小学校第2教室棟の増築工事において11月26日に仮契約をした。今回、工事の一部である擁壁工事も含め、子どもの安

全確保を最優先に十分配慮して工事を進めていく。

主な質疑

問 第2校舎建設場所の土壌は砂地であり、強度は大丈夫か。

答 砂地前提で進めており、22mの杭打ちを行うなど、耐震強度を確保している。

問 身体障がい者用の多目的トイレの設置は。

答 今回の工事分にはないが、1階特別支援教室の近くに1カ所ある。

(総務文教委員会審査報告)



福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例を改正

賛成多数で可決

ごみの減量を目的とし、ゴミ袋の価格の一部を7月1日より

変更する。委員会では、付帯決議が提出され、全員賛成で可決した。内容はごみ袋の金額を上げることに對して、市民に十分な周知・説明を行うこと。旧ごみ袋に對して、条例施行前に市民が購入したごみ袋が無駄にならないように対策を講じること。

主な質疑

問 今回の議案はごみ減量が目的の一つとあったが、市民への啓発はどのように行ふのか。

答 広報紙、ホームページ、出前講座、郷づくり推進協議会等で啓発を行いたい。

問 指定ゴミ袋大の金額は、10枚で75円上がる。子育て世代において、オムツなど多くのごみを出しているかたには負担が大きいのと考えるが。

答 全体のごみ減量化を目的にしているため、ゴミ袋の小と中については、ほぼ値段を据え置いている。今までゴミ袋の大きを使ってきたが、小分けすることでごみの減量が進むと考

問 料金改定後3か月間は旧ゴミ袋を併用できるが、使い切れない旧ゴミ袋に對して対策はどうなっているか。

答 併用期間を長くした場合、買いたたけが発生することが想定される。そのことにより、旧ゴミ袋の在庫がなくなる可能性があることを考慮して3か月間の併用期間を設けている。なお、残ったゴミ袋に對しては無駄にしないよう今後検討したい。



金額と大きさが変更になるごみ袋 (1枚当たりの単価を表示)

(建設環境委員会審査報告)

外出支援活動団体サポート事業および 子どもの生活に関する実態調査について



外出支援活動の様子

社会福祉協議会を中心に、各自治会や施設等で外出支援活動団体サポート事業を実施している。この取り組みについて調査した。
「第2期福津市子ども・子育て支援事業計画」策定のために、平成30年12月に子どもの生活に関する実態調査が実施された。この実態調査をもとに今後の策定方針などを確認した。

外出支援活動団体サポート事業 の取り組みについて

ささえ合い協議体のなかで、地域での取り組みとして移動手段の確保がまず問題になるとの意見が多かった。そのような背景から外出支援活動をサポートするために事業化した。

この事業は閉じこもりがちな高齢者が、買い物や交流を行えるように車両の確保、安全講習、運行や運営の支援を行っている。

事業の業務を委託された市社会福祉協議会の取り組みとしては、車両の確保、保険加入、市との協議、安全運転講習会などを行っている。

令和元年9月現在の状況は、6団体が登録。実施回数は65回、延べ利用人数は573人、延べスタッフ数は184人である。

課題としては、運転ボランティアの確保、運転ボランティアの高齢化（平均年齢約70歳）、利用希望者の増加に対する車両不足、住民への周知などがある。

委員の意見として、安全講習や

（市民福祉委員会所管事務調査）

誤発進防止システムの導入の検討を提案した。また、人材リストの作成や、運転ボランティア・安全性を備えた車両の確保などがあげられた。

子どもの生活に関する実態調査

市内に居住する就学前児童保護者と小学生児童保護者それぞれ1,000人を対象に無作為抽出で調査を実施。回収率はそれぞれ、53%と50%であった。

調査項目は定期的な教育・保育事業の利用や利用意向、小学生の日常的な過ごし方、今後、重要度が高い子育て支援策など21項目であった。

新しく幼児教育・保育にかかると無償化の制度が始まった。さらには「子育て世代包括支援センター」が新しく取り組む事業として期待される。

調査結果をさらに分析して、「第2期福津市子ども・子育て支援事業計画」を策定する必要があると考える。

業務効率化へ向けた京都府木津川市、学校規模適正化のため統廃合に取り組む大阪市を視察

木津川市は、早くから会議の効率化やペーパーレス化、RPAやAI・OCRの実証実験を進めている。働き方改革や経費削減などに成果を上げている。

大阪市の小学校数の傾向は、小規模校化している。反面、一部地域では児童数が急増している。平成29年度から対策プロジェクトチームで課題解決に向けて議論中である。働き方改革や経費削減の取り組み、学校規模の適正化に向けた取り組み事例を調査した。

▼木津川市の視察内容

平成27年度から会議の効率化として事前資料配布、ペーパーレス推進のため庁内無線LANを配線しタブレット端末を配備した。資料データを共有することで会議時間の短縮につながっている。

事務効率化では、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）及び紙による申請書の文字情報をAI・OCR（人工知能による光学文字認識）の実証実験を進めている。効果が見込まれる3業務（年末調整、児童手当現況届、児童クラブ延長料金徴収）を抽出し、効果計

（総務文教委員会所管事務調査）

測を進めている。ICT導入（RPA、AI・OCR等）について、定型業務の短縮化、ヒューマンエラーの防止、人件費の削減につながる業務など、対象とすべき業務の検証を踏まえた上、導入検討を進める。AI機能のシステムの進歩と共に、専門的知識を有する人材の採用や研修が必要である。

本市における検討課題としても十分な調査内容であった。



▼大阪市の視察内容

学校規模適正化については、審議会答申「今後の学校配置の適正化のすすめ方について」に基づき取り組みを進めている。児童数の大幅減少という全体傾向により、小規模校対応の基準として取りまとめている。適正化方針の基本は「統合」であり、「校区の変更」である。校区の変更には、児童の友人関係や兄弟関係などの配慮や統合前に対象校同士の交流活動や地域子ども会の合同活動の実施等をしている。

大規模校解消は、小学校3校が対象となっている。今後は、新設校を目指す方針である。他



役所業務をAIが支援する木津川市視察

に「学校選択制」を実施している。メリットは①親子で意見を述べ、学校を選ぶことができる②親子が学校教育に深い関心を持つ③特色ある学校づくりが進められる④開かれた学校づくりが進む等が挙げられている。

本市の大規模校については、審議会答申を基に、新設校の建設構想を打ち出すことが望まれる。「学校選択制」は通学の安全確保や郷づくりなどの課題があるものの、過大規模校対策として参考に値すると考える。



大阪市の参考資料

歴史的な町並みを活用した観光振興を行っている千葉県香取市、デマンドタクシーの取り組みを行っている千葉県市原市を視察

香取街道沿いの歴史的町並みを保存する香取市。民間と協力して外国人観光客を多く集客している。またこの地は伊能忠敬が名主だった地でもある。

デマンドタクシーを導入する市原市の特徴は、市民が運営協議会を作り、交通政策を立案、運営をしている。本市がこれから取り組む津屋崎地域の観光拠点としての政策や公共交通網の整備について先進地の事例を調査した。

▼香取市の視察内容

平成28年には、香取市を含む北総四都市は江戸を感じる町並み群として日本遺産に認定されている。また、伊能忠敬関係資料が国宝に指定されている。さらに「佐原の大祭」での山車が、千葉県内唯一のユネスコ無形文化遺産に登録されている。

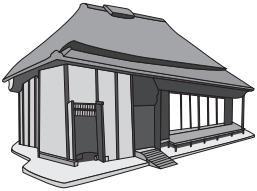
来訪客は外国人が多く、観光案内では施設での多言語表記を行っている。国等の関係機関が行っている在外公館による外国青年を任用する制度JETプログラムを活用し、タイ人とアメリカ人の国際交流員(CIR)を2人配置している。インバウン

(建設環境委員会所管事務調査)

ド対策としては、SNSや海外現地での情報を拡散している。

視察を終えて、本市では市全体で津屋崎地域の歴史的町並みの価値を共有し、保存や観光といった意識の醸成を図っていかなければならないと考える。

また、本市は観光資源を観光客誘致に十分生かしきれていないと考える。この視察を通し周辺自治体と連携し、旅行会社やバス会社にツアーを提案することが必要だと提言したい。



伊能忠敬の郷土 香取市佐原

▼市原市の視察内容

交通政策について市民と行政と事業者が協働して取り組んでいる。同市の特徴は、行政から提案するのではなく主体は運営協議会に任せられている。運営協議会は自治会長や地域の推薦人から構成されており、1、2カ月に1回程度会議を開催。会議では運行状況や収支状況を検証して運行改善を行っている。

行政は財政的支援として導入のための事務経費のうち年間10万円を上限として支給。また運行支援として運行経費の2分の1の額か、運行赤字のいずれか少ない方を支給している。残り

の運行経費は地元負担としていた。

市原市においても営業路線との競合があるものの、地域住民が主体的に交通網を考えていることから事業者も協働の姿勢で寛容な話し合いが行われていた。視察を終えて、本市においても地域の交通体系は住民自治に任せることを検討してはどうかと考える。そのことによって地域の問題意識として公共交通をとらえることができ、住民に有意義な交通手段になると考える。



デマンドタクシー 市原市視察

女性の視点で議会改革に取り組んだ千葉県 取手市議会、ICT化等分科会を設置してい る千葉県習志野市議会を視察

取手市議会は平成29年「女性議員による議会改革特別委員会」を設置し、女性の視点で議員活動を検証した。

習志野市議会は議会基本条例の制定を見送った。また、タブレット型端末導入と議会のペーパーレス化により行政コストの削減を行っている。両市議会の議会改革の現状を調査した。

取手市議会の取り組みについて

特別委員会において会議規則の一部改正、議会および委員会の欠席理由として出産・育児、介護などを明記。また、議員報酬条例も平成30年に妊娠・出産とそれらを起因とした疾病による長期欠席をした場合は、報酬減額の対象から除外されるように変更した。さらにこれらの動きは取手市だけではなく、国の法整備に関わることとして、平成30年に国に対し意見書を提出している。

習志野市議会の取り組みについて

「議会基本条例」及び「議会のICT化」をテーマとし、議会改革検討協議会を設置した。



女性の視点から取手市議会視察

基本条例の検討結果は、規定すべき事項がすでに実施しているため、改めて基本条例を制定する必要性がないとした。また、タブレット型端末を導入し、ペーパーレス化が実現した。費用対効果は、消耗品費、印刷製本費、人件費、合計755万円の削減効果となった。

(議会運営委員会所管事務調査)

中学生が議会形式で 福津市の未来を市長らに提言

「福津市のこれからについて」をテーマに各中学校生徒会メンバーが3回の会議を重ねてきた。

4回目となる中学生未来会議(令和元年11月9日)は福津市議会の本会議場で開催し、市長・副市長・教育長の出席のもと12議案を提出した。一部議案を紹介。どれも夢があり「福津愛」が溢れる議案ばかりだった。

・Let's build a Dome!!

資金はクラウドファンディングで長年かけて集め、ドームを作り、自然と共生できるまちに。

・「教えて!おばあちゃん、おじいちゃんプロジェクト」

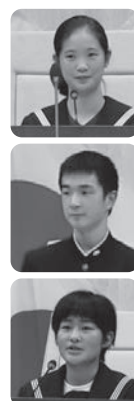
お年寄りには「知恵教室」を、若者は「スマホ教室」など、異年齢の交流を増やし地域が一つの大きな家族となるまちに。

・Come Back 割is

市のおいしい食物や工芸品を、在住歴に応じて割引制度で販売し、特産品のPRと地産地消の拡大を図る。



本会議場で提案する中学生と議長を務める各校の生徒会長





一般質問



1. 戸田 進一…………… P12

- ①小中学校の大規模校解消のために新設校の建設を
- ②よりよい幼児教育・保育をめざして

2. 榎本 博…………… P12

- ①郷づくりと自治会について

3. 横山 良雄…………… P13

- ①小中学校及び学童保育所の施設整備計画について
- ②竹尾緑地の環境保全と有効活用について
- ③市営納骨堂の建設計画について

4. 高山 賢二…………… P13

- ①包括的な支援体制の構築について
- ②市道の管理について

5. 八尋 浩二…………… P14

- ①大規模災害対策について

6. 尾島 武弘…………… P14

- ①新原・奴山古墳群内の施設等移転及び用地取得について
- ②地域商社「いいざい」と連携している産直施設について

7. 中村 晶代…………… P15

- ①学校及び公共のトイレについて
- ②おくやみコーナーの設置について

8. 石田 まなみ…………… P15

- ①市の防災計画について

9. 中村 清隆…………… P16

- ①市がん検診事業について
- ②市の社会体育の現状について
- ③市職員の人員配置と時間外勤務について

10. 蒲生 守…………… P16

- ①幼児教育・保育の無償化の対応について
- ②タクシーの利用について
- ③学校施設の整備について

11. 田中 純子…………… P17

- ①子育て支援について

12. 下山 昭博…………… P17

- ①まちづくり基本構想の計画策定の背景に記載されている課題等の今後について

13. 福井 崇郎…………… P18

- ①市の防災・減災について
- ②子どもの学習環境の整備及び活用について
- ③市の観光戦略について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
 質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。
 (検索方法は19ページに掲載)



福津市古墳キャラクター
ふんちゃん



戸田 進一

質問 大規模校解消の ため新設校建設を

【答弁】
年明けに新設校建設等
含めた原案を提示する

【問】 児童生徒数の増加で、福岡南小や福岡小では、中休み・昼休みににおける運動場使用に制約が生じている。福岡南小は、全学年が一齐に遊べず交代制である。大規模校の現状はどうなっているか。

【答】 職員室の拡張などを行っているが、校長先生の学校運営マネジメントが大切な要素となっている。

【問】 今後の児童生徒数の予測はどうなっているか。

【答】 児童生徒数のピークは、福岡南小は令和7年度で1682名、福岡小は令和10年度1850名、福岡中

間は令和13年度で1811名。さらに令和20年度では福岡南小は977名、福岡小は1342名、福岡中は1424名である。

【問】 ピーク時は、3校とも適正規模校の倍以上の数である。しかも、ピーク後漸次減少するものの、20年後においても過大規模校は続き解消されない。よって、部分的な校区変更やスクールバスの活用などで改善が図れる規模でないと考える。小中学校それぞれに新設校が必要と考えるが、見解は。

【答】 年明けには、新設校建設等も含めた原案を提示し、保護者や地域のみなさんと話し合っていく。



手狭な運動場は、交代で使用



榎本 博

質問 分別収集で質問書 が出ていると聞くが

【答弁】
その件については承知
している

【問】 自治会未加入者に対する分別収集ゴミ搬入禁止問題で、市長と担当窓口の回答に違いがあると質問書が出されているが、市の見解は。

【答】 質問書には、分別収集に関わる交付金について、市が直接自治会へ交付するという文言になっていた。「市は郷づくり推進協議会に直接交付」と回答したもので、大きな食い違いはないと認識している。

【問】 分別収集会場への搬入について自治会未加入者が搬入できないことは違法である。市長はすべての住民が搬入できるようにすると回答しているが、市の見解は。

【答】 自治会未加入は大きな課題として捉えている。3月、4月の自治会長が集まる場で説明してお願いしていきたいと考えている。

【問】 ある市民から「区長制度の時、自治会活動として子ども会や婦人会へ信頼関係で補助し、自主自立を尊重していた。条例や監査のチェックだけでは息が詰まり、展望希望が無くなってしまうのでは」との意見も聞いている。行政、市民、議会が一体となって対話による「地域づくりフォーラム」を開催し、問題を解決してはどうか。

【答】 貴重な提案だと思う。意見・助言を頂きながら考えていきたい。



子供会と連携し分別収集する自治会



横山 良雄

質問

児童生徒の過密は
校区再編を第一に

答弁

児童生徒数の推計に基づき選択肢として検討

問

学校施設等は、長期的視点に立った整備計画を作ることが望ましいと考えるが、そのような視点はなかったのか。

答

福岡駅東土地区画整理事業や西福岡のシーサイドパーク海岸通りの開発により、福岡中学校区の児童生徒が予想以上に急増し、福岡小と福岡南小が過大規模校となっている。一番の要因は、状況を想定した学校施設整備計画を作成することが出来なかった。ここ数年リース校舎で対応しているが、今後も増加の見込みがあり、中長期的な児童・生徒数の推計値に基づき学校教育施設基本構想を策定中。

答

計画策定後、利用者説明会を開催し十分な周知と理解に努める。

問

納骨堂建設は、場所、予算、交通や環境を配慮し、十分な市民説明をした上での合意済み計画か。

答

公園管理者として、市民の意見を聞きながら適切な判断をする。

問

自然公園としての価値を高めつつ、遊歩道の敷設や子ども遊び場、高齢者の憩いの場などの有効活用を視野に入れ、見通しの良い公園にとの要望があるが、考えは。

▼竹尾緑地環境保全と有効活用



市街地に唯一残る竹尾緑地公園

質問

包括的な支援体制
を構築すべき

答弁

今後、全庁的に取り組む事業と認識している

問

平成30年の社会福祉法改正で、包括的な支援体制の整備をするのが市町村の努力義務とされた。市の地域福祉計画でも令和3年度までに包括的・総合的支援体制を確立するところがあるが、取り組みは。

答

介護は地域包括支援センター、生活困窮は福祉課、子育ては次年度開設予定の子育て世代包括支援センター、障がいはいは基幹相談センター設置を検討中。これらの相談者に対し、幅広く相談を受け止める体制を検討中である。

問

地域福祉に関する課題解決は、



高山 賢二

問

基本構想に「地域の課題を解決しながら魅力ある住みやすい地域をつくる」とある。市道の未舗装解消や道路改良の今後の計画は。

答

優先順位をつけ、地域の要望実現が可能となるよう努める。

答

地域福祉計画との整合性を図り各部署を縦割りにならないよう全庁的に進めていく。

▼市道の管理について



一人ひとりに寄り添った支援を



八尋 浩二

質問 大規模災害対策について

答弁 各課題等を慎重に検討する必要がある

問 二級河川やその他の河川の護岸は、どのように点検されているのか。

答 日常の業務の中で現場に出向いた際に目視で確認をしている。また、大雨等で被害が想定される箇所については、降雨時・降雨後の巡回で点検をおこなっているが、点検体制も何らかの形で改善する必要があると思っている。

問 停電が長期に渡った時に、指定避難所や広域避難所の大型発電設備の設置を考えているのか。

答 供給体制を整えるためにもレン

問 避難所が被災した場合、市民の行動の周知と食料物資等は、どのように考えているのか。

答 近くの避難所が使えない場合は消防団やマスメディアを使って周知をしたい。食料物資等は、7200食分を用意しているの不足している避難所に配る。

問 電線等の地中化工事は将来に向けて整備予定があるのか。

答 予定はないが低コスト化整備手法の研究、路線の選定、事業者との協議など検討する必要がある。



西郷川河原橋付近に大雨によりできた穴



尾島 武弘

質問 津屋崎カントリー施設移転の影響は

答弁 米麦生産農家に大きな負担になると認識

問 カントリー施設の移設に伴う解体が、令和3年度末から1年遅れるようだが、移転費の国、県、市の負担割合はどうなるのか。

答 国の文化庁と県の世界遺産室と協議し、国80%、県8%、市12%の負担割合は変わらない。

問 新たなカントリー施設の建設費総額は26億円。JAの負担額は15億8千万円以内と大きな負担を強いられるが知っているか。

答 JAの負担額は知っているが、光岡の新しい施設の利用料は値上げするという話は聞いていない。

問 移転に伴い稲作をやめるということや、運搬に関係する料金が発生し、農家負担になるなどのデメリットを市は認識しているか。

答 津屋崎の米麦生産農家には大きな負担になると認識している。

▼地域商社と産直施設について

問 あんずジャムや鯛塩ラーメンなど、お中元やお歳暮用の詰め合わせセットはないのか。

答 商品開発・全国流通を今後検討。

問 地域商社との連携状況は。

答 さらに連携を深めていく。



世界遺産内の津屋崎カントリー施設の解体は令和4年度予定

質問

学校や公共施設の トイレの改善は

答弁

長寿命化計画に基づき
順次行っていきたい

問

市内の小中学校や公共施設のトイレの現地調査を行った。どの施設も洋便器や多目的トイレの数が未だ少ない。その上、中には電気がつかない、水が流れないなど故障中のまま放置されている状況があった。改修や改善の予定は。

答

現在、市内の小中学校の洋便器率は約45%。長寿命化計画の中で更に進めていく予定であるが、新校舎の建設が喫緊の課題であるため、既存のトイレの改修には時間がかかると思われる。故障中の多目的トイレ等に関しては調査の上、必要に応じて対応していきたい。イベント会場となる公共施設



中村 晶代

問

昨年からの進展は。

答

先進地の別府市を視察した。市として、家族が亡くなった後の複雑な手続きを効率的に行う体制を整えている過程である。ホームページ等の改良も検討したい。

併せて調査し検討をしていく。
▼おくやみコーナー設置について



電気がつかない多目的トイレ

質問

市民が安心できる 防災計画を進めて

答弁

地域防災推進員の設置
で地域防災力を高める

問

今年で5回目を迎えた全市一斉防災訓練だが、各地域の様子と今後は。

答

訓練の内容によって地域では参加世帯数や参加人数に増減はあるものの、行事と合わせるなど工夫を凝らして取り組んでいる。各地域からの報告をまとめるだけではなく、取り組み事例として他の自治会や地域にも紹介していく。

問

市には避難所運営ゲーム（HUG）やクロスロードゲームの講習ができる団体がある。日ごろからもっと活用すべきでは。



石田 まなみ

答

地域防災推進員の設置を進めている中での活用や、市民向けの講座などに取り組みながら、講習ができる人材育成も考えていく。

問

災害にあった地域の報告を見ると、多様な意見を取り入れて成功している例がある。地域防災推進員も男女比率と半々にというのを目標にできないか。また災害時に避難所で最初に使用する仕切りなどの備品にも力を入れてはどうか。

答

状況にもよるが、地域防災推進員の男女比については今の社会上当然の問題と捉えていく。また備品等については、時間や予算などを考慮し、できることからすすめる。



万一の際、安心できる体制を



中村 清隆

【質問】

乳がん検診の受診率アップの対策は

【答弁】

個別検診が一つの方法だと考える

【問】

主要施策の成果報告概要の中で、市民が検診を受けやすい体制整備を行うとしているが。

【答】

市内の医療機関で個別検診の体制が整っているか、費用はどのくらいかかるか等を研究した上で、今後の方針を考える。

【問】

▼社会体育団体の現状について

営利目的の団体と、そうでない団体とで、何か規定はあるのか。

【答】

明確な基準がないので、つくり上げる必要がある。他市の状況もみて、目的や活動の整理をする。



乳がん検診マンモグラフィー 早期発見・早期治療を

【問】

学校施設の利用団体と、学校との情報共有や利用状況等、調整会議が必要だと思うが。

【答】

情報共有というところでは、考えていく必要があると認識。

【問】

学校施設予約の仕組みについて、活動内容の把握も含め、改善する必要があると思うが。

【答】

委託先とも協議をし、調査研究しながら改善していく。

▼市職員の人員配置について

【問】

非正規職員の災害活動従事は。

【答】

公務災害補償の関係で難しい。



蒲生 守

【質問】

タクシー導入、市民の利便性は

【答弁】

地域住民と一緒に考えていきたい

【問】

建設環境委員会で視察を行った。（P9参照）千葉県市原市では各自治会の代表が交通網の検討をする協議会を作り、自分たちの利便性を考えた交通体系を構築している。市も導入してはどうか。

【答】

市がやれば定時定路線となり、地域で考えていただければ、地域の実情に合ったより良い運営方法ができると考えられるが、このことについてはもう少し研究し、地域に申し出をするか検討したい。

【問】

地域住民にとっては公共交通への関心が高い。関心が高いのだから住民のみなさんの意見でバス停



市原市のデマンドタクシー

【答】

場所を決めて良いとする仕組みを作れば、利用しやすい公共交通機関になると思うが。

地域の声もいろいろあり、これまでも十分地域の声を反映して地域公共交通網を作ってきた。建設環境委員会の所管事務調査報告書は関心をもって拝聴した。視察市は本市の人口の約4倍程度の大きな市ではあるが、住民自治により公共交通を考えられている。

本市では、郷づくりを中心に地域住民自治が熟成されてきていることから、公共交通に関心を持つ方と一緒に、公共交通網を地域住民と考える場を設けるといった新たなやり方は十分考えられるかと思う。



田中 純子

質問

子育て子育てを皆
で応援するまちに

答弁

子ども子育て支援事業
計画で取り組み中

質問

エンゼルスポットの担う役割と
位置づけは。

答

この施設は、地域や家庭の子育
て支援機能充実のために開設した。
就学前親子の子育てサロンや相談
機能により、子育ての不安を緩和
し、子どもの健やかな成長を支援
している。小学生が遊び、中学生
や高校生が自主的に学習する集い
の場で、年間1万5000人の利
用が続いている市の子育て支援施
設である。

質問

エンゼルスポットとフクスタや
子育て支援センター、のびのび発
達支援センターの連携は。

答

保護者の利用は今の段階では厳
しい。休館日変更はできるだけ早
く検討していく。ミニバス利用の
小中学生は、行きは半額、帰りは
無料となっている。広報紙やフク
スタタイムズでの周知も必要。

質問

フクスタの利用対象者や休館日
の変更予定は。ミニバス利用時の
サービスの周知については。

答

子どもの発達支援には、早期発
見と適切な対応が重要で、それぞ
れの施設の連携が必要。スタッフ
が情報交換し、こどもの発達段階
に応じた健康や成長を共有できる
体制整備に努める。



児童センター
FUCSTA

のびのび発達
支援センター

子育て支援センター
なかよし

福津市HPより、エンゼルスポットはどこに

質問

基本構想に表記さ
れた課題を問う

答弁

教育施設構想等に具体
的内容を示す

質問

福岡南・福岡・津屋崎小学校の
児童数増加の課題解決について問う。

答

学校教育施設基本構想を策定し
1月には方向性を示す。コミュニ
ティ・スクールの継続、郷づくり
の協力支援を配慮しながら新設校
と校区再編も踏まえた内容で方針
を決定する。

質問

保育環境や幼児教育環境の課題
解消について問う。

答

令和2年9月認可保育所2園
(定員120名) 開園、同年4月
小規模保育施設(定員19名) 開園
する。



下山 昭博

質問

高齢者が活躍でき、健康に暮ら
し続けるための具体策を問う。

答

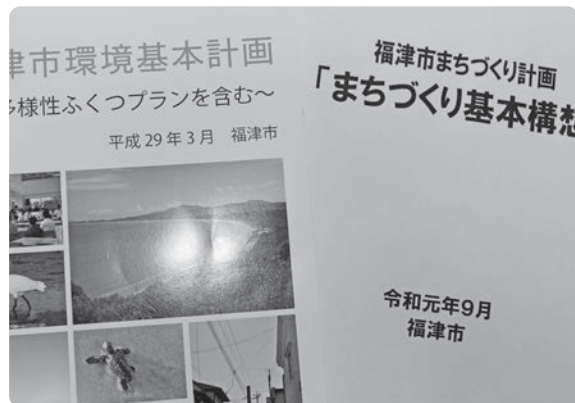
健康づくり、介護予防、社会参
加等の支援体制を継続する。また
地域包括支援センター、ささえ合
い協議体、地域サロンの協力と活
用を進める。

質問

自然環境の目に見えないレベル
の劣化について問う。

答

福津市多様な自然環境が、生活
様式の変化により自然資源の利用
減少したために劣化が進んだと考
えられる。



まちづくり基本構想と環境基本計画



福井 崇郎

質問 災害時の環境整備 の方針は

答弁
災害に強い自治体・市政を目指す

問
相次ぐ洪水などの風水害、そして今後起きる可能性の高い震災など自然災害は待ったなしである。市の災害の対策及び平常時からの予防策を行うためにも、公用車に電気自動車を導入することで電源を確保していく考えはあるか。

答
停電時の電気の供給のため電気自動車は実効性がある。公用車の更新時のタイミングで数台から導入を検討する。

問
災害に立ち向かい、一人一人が自主的に動くための人材づくり、環境整備の方針は。

答
災害に強い、自治体・市政を目指す。



常日頃からの防災意識が大事

指す。同時に市民が助け合い助けられるための自治体を目指す。また、市・県・国とで信頼関係とそのネットワークならびに国へ要請していける体制づくりを行う。

▼子どもの学習環境の整備について

問
市の急激な人口増加により、小中学校の学習のための環境整備等は十分足りているのか。

答
市の人口推計をもとに児童生徒数の推計を行い、学級数の増加に対応できるよう実施計画調書を作成し整備している。今後も学習等に必要の備品を整備し、児童生徒の学習環境を確保する。

賛否表

結果	議案名	議員名													
		福井 崇郎	森上 晋平	秦 浩	石田まなみ	八尋 浩二	田中 純子	中村 晶代	尾島 武弘	下山 昭博	高山 賢二	中村 清隆	蒲生 守	横山 良雄	戸田 進一
可決	議案第59号 福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例を改正することについて	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は可否同数の時以外は表決に参加しません

○は賛成 ●は反対 ーは欠席

下記議案については全員賛成で可決

- 議案第50号 福津市一般職の職員の給与に関する条例を改正することについて
- 議案第51号 福津市の議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正することについて
- 議案第52号 福津市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正することについて
- 議案第53号 平成31年度(令和元年度)福津市一般会計補正予算(第4号)について
- 議案第54号 平成31年度(令和元年度)福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第55号 平成31年度(令和元年度)福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第56号 平成31年度(令和元年度)福津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第57号 平成31年度(令和元年度)福津市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第58号 福津市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等を改正することについて
- 議案第60号 福津市税条例を改正することについて
- 議案第61号 福津市学童保育所条例を改正することについて
- 議案第62号 福岡小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
- 議案第63号 福岡南小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
- 議案第64号 神興小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
- 議案第65号 神興東小学校及び上西郷小学校学童保育所の指定管理者を指定することについて
- 議案第66号 津屋崎学童保育所の指定管理者を指定することについて
- 議案第67号 工事請負契約を締結することについて
- 発議第5号 特別委員会の設置について(議会活性化調査特別委員会)

議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ

2月25日(火)開会
3月18日(水)閉会予定

日程等に変更になる場合があります。

議会の動画を配信しています

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信しています！

録画中継は議会閉会后、概ね 10 日以内に配信します。

議会にアクセスしよう！

福津市議会 中継 検索



託児サービスがあります

傍聴希望日の 5 日前まで（土・日・祝日除く）のお申し込みが必要です。

託児料は 300 円です。お気軽にお越しください。

詳しくは、議会事務局（43-8144）にお尋ねください。

表紙絵は前回同様、福津市教育委員会在籍の大嶋正紹さんに依頼した。テーマも前回同様「自然に囲まれ、子どもと年配者の心温まる情景」（持続可能なまちづくりSDGs 関連）である。今回は、宮地嶽神社境内に差し込む夕日を受けながら遊ぶ子どもの姿を老人が優しく見守っている風情である。長年、児童教育や幼児教育に携わってこられた大嶋先生の感性が表出するが如く、表現されている。脈々と受け継がれてきた福津の自然環境、今も昔も変わらない老人と子どもが共に過ごす情景、これらが見事にマッチングして市の 10 年後がみえるようである。



議会広報調査特別委員会

発行責任者
委員長
副委員長
委員

江 生 上
蒲 井 上
福 中 上
森 中 上
田 村 中
中 山 村
下 山 村

隆 守 行
崇 平 郎
晋 子 平
純 代 子
昭 博



下山 昭博

議会広報紙に携わって一年、時が走馬灯の如くあっという間に過ぎ去ってしまいました。この広報紙を市民の皆様の手の上に置いて頂き、一人でも多くの方にページを開いてもらえるようにしたい。その一念で広報紙改革に取り組んできました。少しずつですが、表紙を筆頭に編集内容に変化が出てきています。SDGs 未来都市に選定された福津市です。新人議員 10 名を加えた新しい議会、ワンチームとなりつつある議会を見ていただくきっかけのひとつとなるように知恵を絞って参ります。

編集後記

「福津市議会だより」の表紙を あなたの絵で飾ってみませんか

福津市の魅力をアピールできるような作品を心よりお待ちしております。

※今回は1年間を通して作品提供ができるかたを募集します。採用されたかたは、各議会だよりの提出日までに作品を提供いただくことになります。

令和2年度
の予定

作品提出日

5月発行分の作品	8月発行分の作品	11月発行分の作品	2月発行分の作品
3/16迄(その後、選考会)	6月末迄	9月末迄	12月末迄

1. 募集内容

市内の特色ある季節の風景やイベントを背景に、「世代をつなぐ」をテーマに老若男女を描いた絵画・イラスト作品。採用された場合は5月発行分に掲載。(市内の菖蒲苑での親子、潮干狩りをしている子どもと高齢者など、5月をイメージしたもの)

2. 応募条件

- 市内在住の個人
- 採用された場合、引き続き令和3年2月発行分までの作品提供ができるかた
- 応募者自身が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。
- 提出された絵画・イラストの著作権は市に帰属されるものとします。

3. 選考

議会広報調査特別委員会にて選考

採用者には3月下旬に電話連絡します。不採用者には連絡いたしません。

4. 紙面への掲載

- 作品は各議会だよりの表紙にカラーで掲載し、氏名等を記載します。
- 編集上トリミングを行う場合があります。

5. 選考用作品提出期限

令和2年3月16日(月)必着

6. 規 格

【郵送・持参の場合】 ※作品は返却いたしません

- 大きさ：A4サイズ程度

【メールの場合】

- ファイル形式：PDF
- ファイルサイズ：メール1件につき20MB程度まででお送りください。

7. 応募方法

「①氏名②年齢③住所④日中連絡がとれる電話番号⑤あれば作品名やコメント」を記載の上、ご応募ください。

8. 宛 先

下記住所・メールアドレス／福津市議会事務局 宛